

研 修 報 告 書

報告書作成日：令和 6 年 4 月 26 日

所 属 ・ 部 署	氏 名	研 修 実 施 期 間
ナギノテ	荻原 雪路	令和6年 4月25日(木) 9:30~10:45
研修実施機関名	研 修 名	研修実施場所
アグリサポート運営委員会	農作業安全講習会並びにりんご人工受粉講習会	坂下隆行様果樹園

研修内容	① 農作業安全について 講師 上田農業農村支援センター様 熱中症対策と脚立の立て方の注意の説明を受ける ② りんごの人口受粉講習会 講師 JA 信州うえだ指導員 吉山技術員、山崎技術員 人工受粉大切な事 結実確保と高品質生産の第一歩になる人工受粉を徹底する。 - 花の採集について 採集時期は風船状に膨らんだつぼみから開花直後の花を採っていく。 - 受粉 実をつけたい花そうの中心花だけに実施する。 - 摘花 一輪摘花と花そう摘花がある - 枝の呼び名について 1年枝から3年枝でそれぞれ見分けることができる。果台の場所で何年目が分かる。 実技 受粉用の道具（竹棒の先に綿毛がついたもの）を一人一人実践した。 綿毛に人口粉を付けて、開いている花の中心花に向けて1回軽くたたくように受粉した。
感 想 (学び・気づき)	毎年暑さが増してきているので熱中症対策をしていく必要がある。 技術員の講師の説明がとても分かり易かった。実践させてもらい良かった。
次回の日時・課題 その他	5月、6月も予定している。葡萄の房切り講習会も予定がある
特 記 事 項 ・ 連 絡 事 項	
配布資料あり。 葡萄の房切り作業は委託作業もある為利用者みなさんも受講しても良いのではと思います。	

代表取締役	管理者/ サビ管	本人印
		